

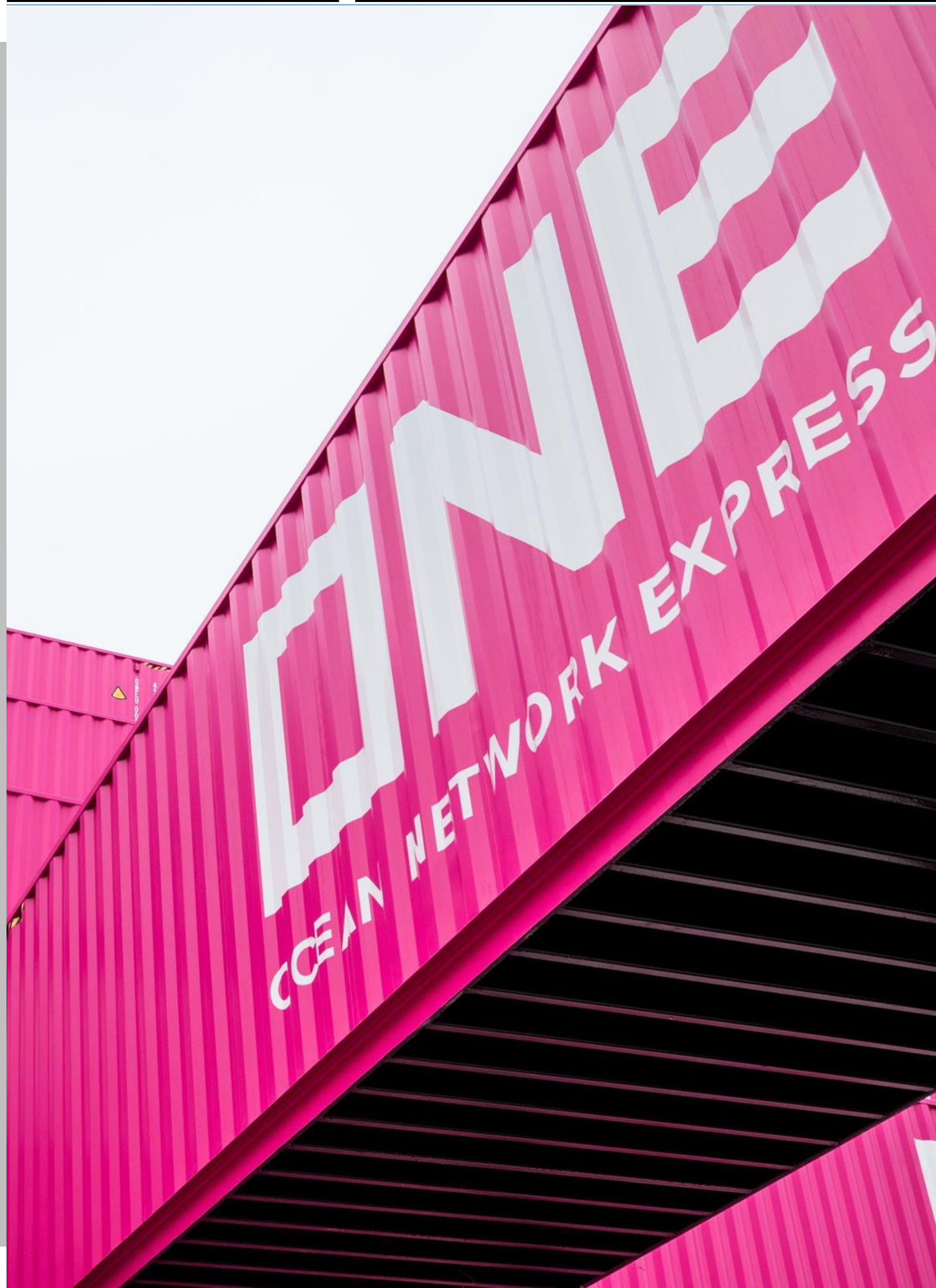
# ONE の取り組み

2022年度第4四半期

**ONE**  
OCEAN NETWORK EXPRESS

2023年4月28日





1. **CEOからのメッセージ**
2. **2022年度の当社の取り組み**
3. **ONEの取り組み**
  - **顧客サービス志向**
  - **オペレーションの優位性**
  - **グリーン戦略**
  - **ONEの持続可能性**



**Jeremy Nixon**  
Chief Executive Officer

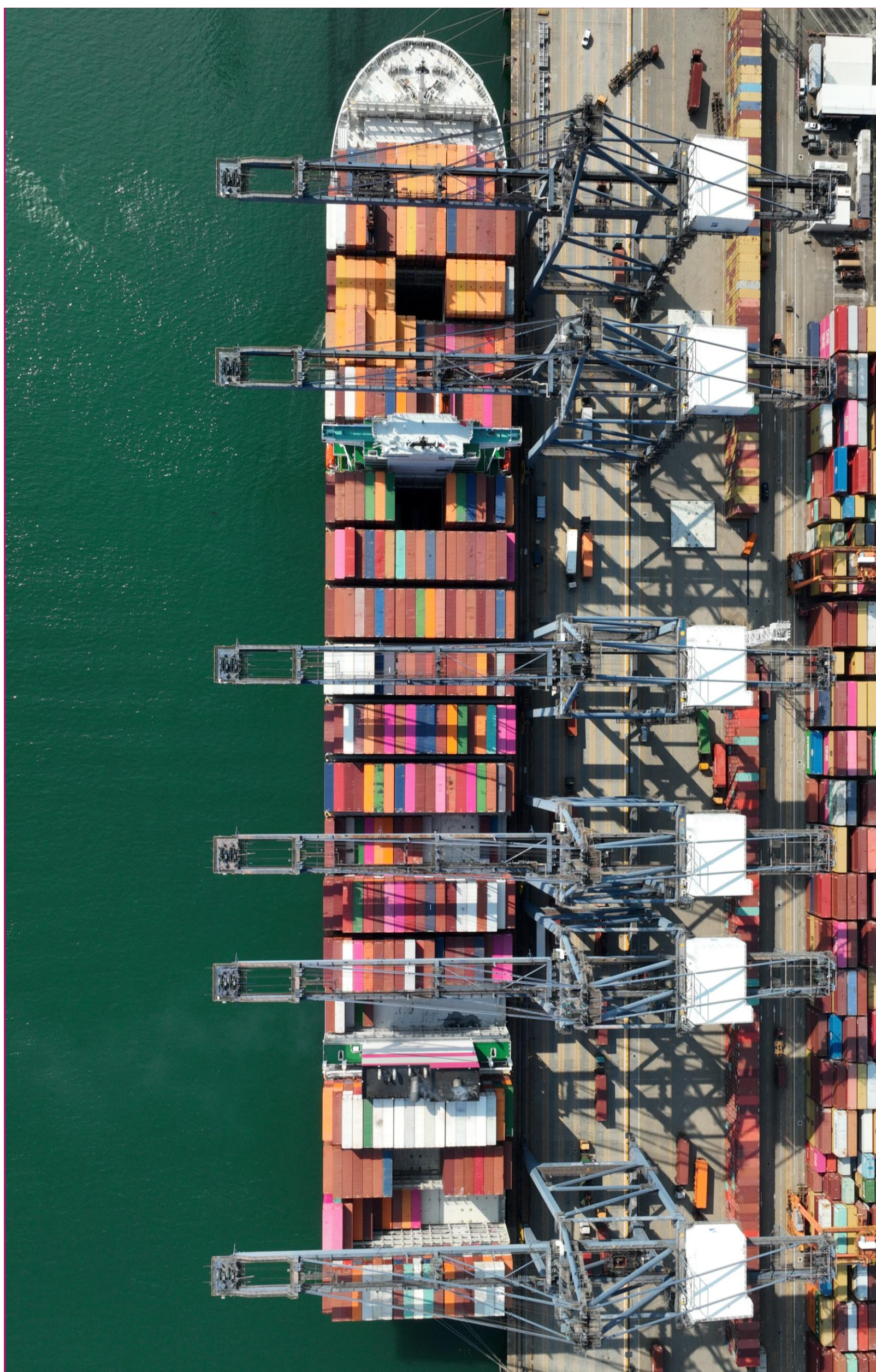
## 市場の動向

2022年度第4四半期の需要は、過去2年の同四半期と比較して著しく低調でした。これは、新型コロナウイルス感染症の回復サイクルに伴い、仕向地における消費財在庫が増加していたこともあり、全く予期できないことではありませんでした。過剰な調整により特に北米と欧州において、足元の売上と在庫水準は逆行しています。このような需要の縮小により、特に中国旧正月（第6週）以降の季節外れの工場操業停止期間もあり、東西の主要航路であるアジア発の一部サービスを縮小せざるを得なくなりました。一方、アジア域内や南北航路では、取扱量は概ね回復傾向にあります。

中国を除き船積予約の見通しについては若干の改善が見られましたが、これは5月上旬のゴールデンウィークの影響によるものと思われます。目に見える「回復の兆し」が現れるのは、早くとも6、7月までは待つ必要がありそうです。供給面では、昨年来の世界的な港湾・内陸部の混雑はほぼ解消されました。しかし、米国西海岸では、昨年の太平洋海事協会（PMA）とILWU間の労働協定がまだ最終合意されておられません。また、2021～2022年のピーク時からの傭船契約期間の長期化により、傭船量は予想以上にタイトな状態が続いています。

## ONEの投資

当社の中期計画に沿って、引き続きバランスシートを慎重に管理し、必要に応じて戦略的な投資を行っています。本年3月、モジュール式グリーン燃料対応設計の13,000TEU型ワイドビームの新造船10隻の追加発注しました。これは当社が1年前に発注した同型船10隻に続くものです。この新造船は2025年から2026年の間に引き渡される予定です。当社は、カリフォルニア州の3つのコンテナターミナル（YTI/LA、Trapac LA及びTrapac Oakland）の過半数の株式取得計画を発表しました。さらに先月、当社はAtlas社（Seaspan社のオーナー）の株式を取得しました。一方、グローバルフリートのアップグレードと拡充に向けた継続的な取り組みの一環として、リーファーコンテナと特殊コンテナの取得を発表しました。また、テレマティクスIoTライブトラッカーを備えるリーファーフリートのアップグレードに取り組んでおり、さらに、ソニー社と新たに戦略的提携を結び、ドライコンテナフリートへの将来的な追跡ソリューションの開発します。



## グリーン戦略

国際海事機関（IMO）は、6月にロンドンでMEPC80会議を開催します。この会議では、長期的で壮大な持続可能な目標や燃料規格の規制に繋がることが期待されています。同時に当社は、既存の排出量のさらなる削減と、将来的にはグリーン燃料と炭素回収技術の開発に基づき、独自の脱炭素戦略を進めていきます。さらに、持続可能性、ベストプラクティスの共有、共通技術や報告基準に関して、業界でのコラボレーションを引き続き推進していきます。また、今般、モバイル及びeコマースプラットフォームにてEco Calculator サービスを新たに開始しました。これは、WTW（Well to Wake）及びTTW（Tank to Wake）という2つの測定ベースで、当社の船舶、機器、サービスループ、港間や内陸サービスに関する各状況に応じたCO<sub>2</sub>の排出量について、包括的な識見をお客様に直接提供するものです。また、2023年の当社のサステナビリティレポートも間もなく公表する予定です。

## サービス強化

当社は、新システムであるService Cloudを通じて、グローバルな顧客サービスレベルの改良と向上に注力しています。これにより、荷主や荷受人の求めるサービスのニーズに、より迅速に、かつ、包括的に対応することができます。「ライブチャット」機能の継続的な強化に加え、オンライン予約プロセスを合理化するためにONE QUOTEサービスをさらにアップグレードしました。また、電子船荷証券の普及に向けた取り組みも公表しました。当社ライナーネットワークについては、ミャンマー、南フィリピン、バーレーン、クウェート、ペルー、チリ、イスラエル及びエジプトにおけるフィーダーサービスに関して更なるアップグレードを公表しました。

## 戦略と方針

### 2022年3月に発表した当社の「中期戦略」及び「グリーン戦略」の実行

- サプライチェーンを支えるコンテナ船社として、高品質で安全なグローバル輸送サービスの提供を継続するため投資を着実に実施してまいります。
- グリーン戦略を当社の最重要経営課題と位置づけ、脱炭素化を始めとした業界の課題に取り組みます。
- デジタル化や運航の効率化、リスク管理を更に強化し、業界トップクラスの収益性と安全性をさらに向上させます。

## 進捗状況

### 投資：

- ・ ONEは、現代重工業株式会社および日本シッパード株式会社と、13,700TEU超型の大型コンテナ船各5隻を建造する契約を締結（2022年5月）、当社の船団に最新の超大型コンテナ船（VLCS）計10隻を投入。なお、同船は2025年に竣工予定。
- ・ 新造船 12,000TEU型（長期傭船）2隻が、計画通り引き渡し済み(2022年8-9月)
- ・ インド・ハジラ向けフィードサービスの開始（シンガポール/コロンボ/ハジラ）、東インド向けサービスの利便性を向上（2022年9月）
- ・ 中東/インドーモザンビーク直行サービスを改編、ケニア・モンバサの直接寄港により東南アフリカの新たなゲートウェイオプションを拡大（2022年8月）
- ・ 世界最大手のコンテナ船専門船主Seaspan社を傘下に持つAtlas Corp.の株式取得を完了（2023年3月）
- ・ 13,700TEU超の大型コンテナ船10隻を新たに発注、2025年-26年にかけて竣工予定（2023年3月）

### 環境：

- ・ EEXI/CIIへの対応について、船舶別・航路別の対応を検討中。また、システムを利用したCIIモニタリング機能を構築中
- ・ シンガポール/ロッテルダム間の“Green and Digital Corridor”<sup>\*1</sup>に当社の参画するGCMD<sup>\*2</sup>が協賛(2022年9月)
- ・ 2023年中の取得を目指しているゼロ・エミッション船のAiP取得のための外部関係者とのプロジェクト結成と進行
- ・ サービス利用時のCO2排出量を算出するONE Eco Calculatorを実装、4月に提供開始（2023年4月）

### 安全性：

- ・ 当社の運航船を対象に安全キャンペーンを実施。本年は各船の優良事例や取り組みの紹介とその共有を主眼(2022年8月)
- ・ 重大海難事故を想定した訓練をSeaspan社と合同で実施（2023年2月）

\* 1.脱炭素を目的としたシンガポール海運港湾庁とロッテルダム市間による取り組み。

\* 2.海事産業における脱炭素化に向けたグローバルセンター。産官連携によるシンガポールの海事脱炭素化の拠点となる。

## e コマース

ONEは、到着通知、船荷証券原本（OBL）の元地回収通知、税関/貨物リリース、その他の重要な情報を含む入港貨物の可視化を24時間体制で利用者に提供する「Import Shipment Overview」を導入することで、当社サービスの特色を引き続き強化してまいります。

スケジュール機能は、カットオフ時間、輸送日数、輸送ルートの詳細などの重要な情報を表示するように改良され、検索結果をPDF形式で容易に共有できるようになるなど利用者の利便性を改善しました。

英語、中国語（簡体字）、日本語、韓国語、ポルトガル語及びスペイン語の6つの言語オプションを提供し、お客様の使用する多様な言語に対応できるようになりました。

## モバイルアプリケーション

当社のデマレージ&ディテンション(D&D)計算アプリは、今や米国及びカナダを含む30カ国で利用できるようになりました。この強力なツールにより、利用者は適用される無料保管期間とその後のD&D料金に指先の操作一つでアクセスすることができます。

地点ごとのスケジュール検索機能が強化され、利用者により良い利用環境を提供できるようになりました。直感的で使い勝手の良いUIあるいはUXで、スケジュールの検索がかつてないほど容易になりました。

当社は、あらゆる規模の船積みの出荷管理を簡素化するために、モバイルアプリに継続的に投資していきます。直感的なインターフェースと使いやすい機能で、配送の追跡や船積み情報へのアクセスをいつでも行うことができます!

ONE  
QUOTE

## ONE QUOTE

2023年4月よりONE QUOTEで提供中の当社の広大なサービスネットワークに北米地域からの輸送を取り入れました。この拡充で、より多くのお客様へさらに便利で包括的なサービスを提供してまいります。

ONE QUOTEは、オンラインで即座に見積りを行い、手間をかけずに船積みを予約することができるため、業界におけるゲーム・チェンジャーです。ONE QUOTEは、価格の透明性を高めるだけでなく、すべてのONE QUOTEによる船積み予約を1つのプラットフォームで便利に追跡することができます。また、ONE QUOTEは、スペースやコンテナの保証など付加価値の高いサービスを備えることで、競合他社の中でも際立っております。

## e-Payment

このたび、マレーシアほか6か国において、e-Paymentというオンライン決済のための安全で信頼性の高いプラットフォームの提供を開始しました。当社の責務は、すべてのお客様の決済環境を向上させることであり、このような発展への努力を今後も継続的に進めてまいります。

## ONE Finance

ONEは、新しい財務プロダクトであるONE Financeを開発しました。このプロダクトは、eコマースを利用されるお客様の利便性を向上させることを目的としています。また、e-Paymentによる直接決済、紛争解決並びに船荷証券及び請求書情報へのアクセスなどの付加価値の高いサービスも提供します。

「ONE Finance」は、限られた利用者グループ内での試験運用を経た後、2023年中に正式なサービス開始を予定しています。



## CRM アップデート (ONE Force Sales & Service Cloud)

統合した当社のSales & Service Cloudソリューションは、お客様との取引情報を全方位から可視化することとなり、当社は継続的なサービス改善と顧客満足度の向上に取り組んでまいります。

このたび、当社のサービスチャットとウェブフォームにトルコ語とポーランド語が追加されました。この開発は、際立ったユーザーエクスペリエンスを提供することを目的とした当社の継続的な取り組みを示す重要な一歩です。

複雑化したご要望を適切な部署へお繋ぎするより効果的な方法として、お客様とのウェブフォームコミュニケーションを充実させました。

当社のサービスチームスタッフの90%以上がService Cloudを導入済みで、2023年5月末までに残りのスタッフも導入が予定されています。



## サービスの質の向上

当社は、お客様の満足度を最優先するデータ駆動型のアプローチを採用することで、サービス品質の向上に努めています。これを達成するために、当社はグローバル及び各地域のサービス主要業績評価指標（KPI）を設定し、これらの目標を達成するための戦略を定めました。当社は、このような積極的なアプローチをもって、サービスの向上に取り組んでおります。

当社は、大切なお客様にさまざまなデジタルツールを提供してきました。現在、その利用状況を把握するための一元的なデータプラットフォームを構築しております。このプラットフォームを導入することで、これらのツールの有効性を総合的に評価し、さらなる向上への道を見出していまいります。

## ヤンゴン・シンガポール シャトルサービス

当社は、シンガポール・ヤンゴン間のサービスネットワークを刷新いたしました。(SMM)

この新サービス「SMM」は、従来の「YGX」と「TMM」サービスを統合するものです。「SMM」は、シンガポールからヤンゴンまで週2便のサービスを提供し、接続ハブ港としてのシンガポール経由で旺盛なヤンゴンへの輸出入貨物需要に対応します。

**EAST ASIA | SMM: Singapore Myanmar Service**

Last update : 28-Mar-2023

For more information, please click [here](#)

**Schedule 1**

N/B	RGN	S/B	SIN
SIN	4	RGN	3

**Schedule 2**

N/B	RGN	S/B	SIN
SIN	4	RGN	4

**PORT ROTATION** (Terminals are subject to change)

ORIGIN	ETA/ETD	TERMINAL
<b>Schedule 1</b>		
Singapore	THU/FRI	PSA
Myanmar	TUE/THU	Myanmar Industrial Port
<b>Schedule 2</b>		
Singapore	SUN/MON	PSA
Myanmar	FRI/SUN	Asia World Port Management Co.
Singapore	THU/FRI	PSA

ローテーション:

Singapore-Yangon(MIP)-Singapore-Yangon(AWPT)-Singapore

サービス頻度:

ウィークリーサービス、サービス開始船は以下の通り。

MIP 回り:

M/V SINAR BANDA 281N、ETAシンガポール4月4日

AWPT 回り:

M/V ALS SUMIRE 1688N、ETAシンガポール4月16日

## 南フィリピン・シンガポール シャトルサービス

当社は、シンガポール・南フィリピン間のサービスネットワークを刷新いたしました。(PH3)

この新サービス「PH3」は、従来の「SPE」と「PH2」を統合し、シンガポールから南フィリピンへ、より効率的で競争力のあるサービスを提供するものです。

**EAST ASIA | PHX3: Philippines Express 3**

Last update : 23-Mar-2023

For more information, please click [here](#)

N/B	DVO	GES	S/B	SIN
SIN	5	6	DVO	8
			GES	5

**PORT ROTATION** (Terminals are subject to change)

ORIGIN	ETA/ETD	TERMINAL
Singapore	SUN/MON	PSA Singapore
Davao	SAT/SAT	Davao International Container Terminal
General Santos	SUN/TUE	General Santos Terminal
Singapore	SUN/MON	PSA Singapore

Turnaround days: 14

- \* **ローテーション:**  
Singapore – Davao – General Santos - Singapore
- サービス頻度:**  
ウィークリーサービス
- サービス開始船 :**  
M/V KOTA NANHAI 0068N  
ETDシンガポール4月10日

## 大規模危機管理訓練

当社は、2023年2月14日、毎年恒例となっている危機管理訓練を実施しました。この訓練は、カナダのSEASPAN社と共同で実施し、シンガポール本社と米国の地域本社から70人以上が参加しました。訓練の目的は、緊急時の対応手順をテストすることで、特にパンデミック後のハイブリッド業務モデルに焦点を当て、それが組織内外の業務遂行にどのような影響を与えるかを検証しました。





## ソニーネットワークコミュニケーションズとのスマートドライコンテナソリューションの開発

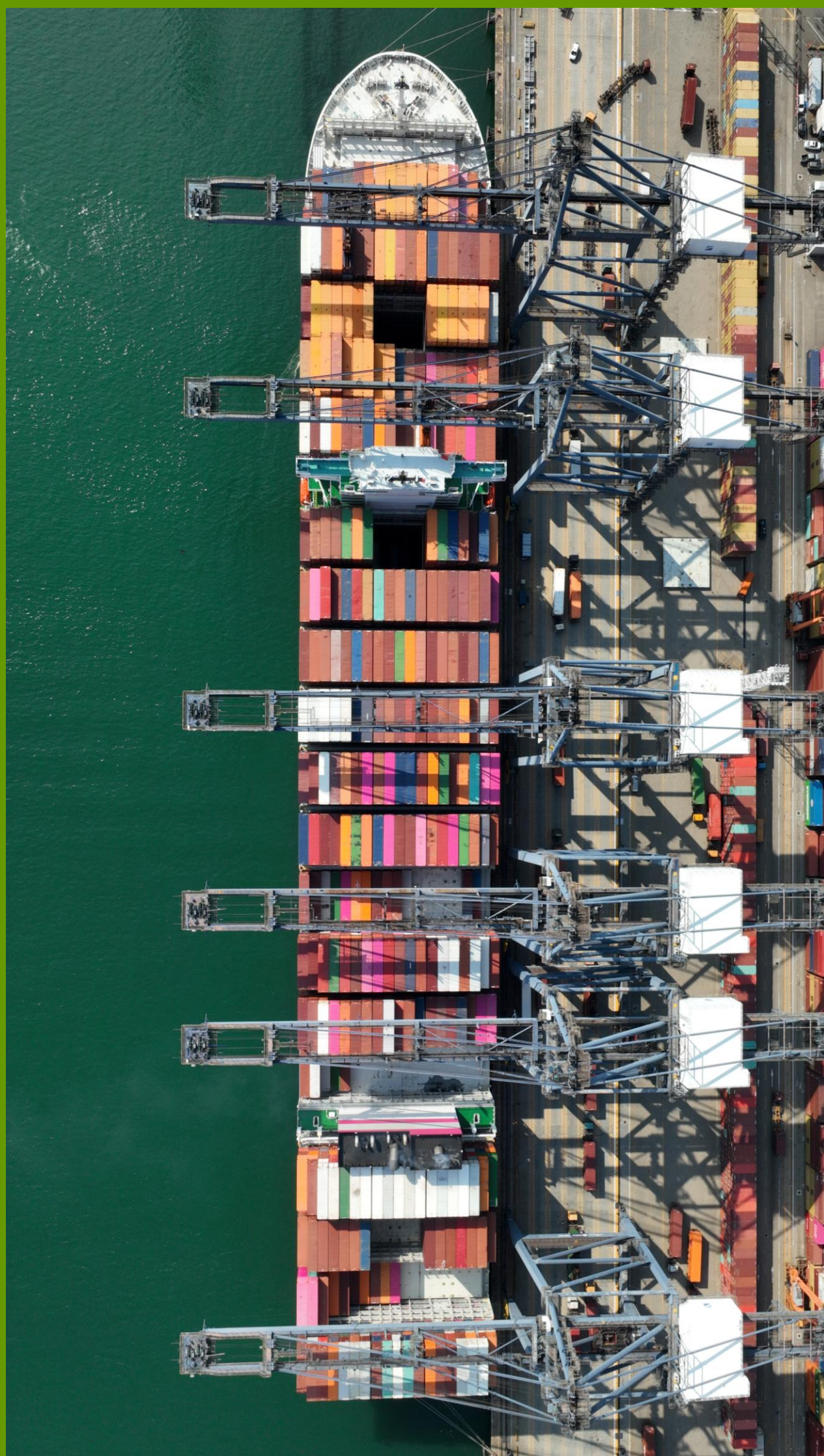
当社は、ソニーネットワークコミュニケーションズヨーロッパと共同で、センシング・コネクティビティ技術を用いて世界中のコンテナフリートに対して革新的なスマートコンテナソリューションを開発するプロジェクトを立ち上げました。

これらのスマートドライコンテナは、個々のコンテナの可視化と効率性を向上させることとなります。信頼できる最新の船積データにより、関係者との間でより容易で透明性の高いコミュニケーションを可能とします。

## ONE Eco Calculator を公表

当社は、当社の運航船舶から排出される二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出量を算出するONE Eco Calculatorを公表しました。このツールは、ネットゼロへの道のりにおける当社のマイルストーンの一つとなるものであり、持続可能な輸送ソリューションを求めるパートナー企業やお客様が、自社貨物のCO<sub>2</sub>排出量を管理するために開発されたものです。

ONE Eco Calculatorは、貨物の荷受け地から最終荷渡し地までの総距離とCO<sub>2</sub>総排出量を提供します。利用者は、当社のeコマースプラットフォームとモバイルアプリを通じてONE Eco Calculatorにアクセスすることができます。



## 脱炭素化とデジタル化に向けた第4回バイオ燃料トライアル

### ドロップインバイオ燃料パイロットプロジェクト

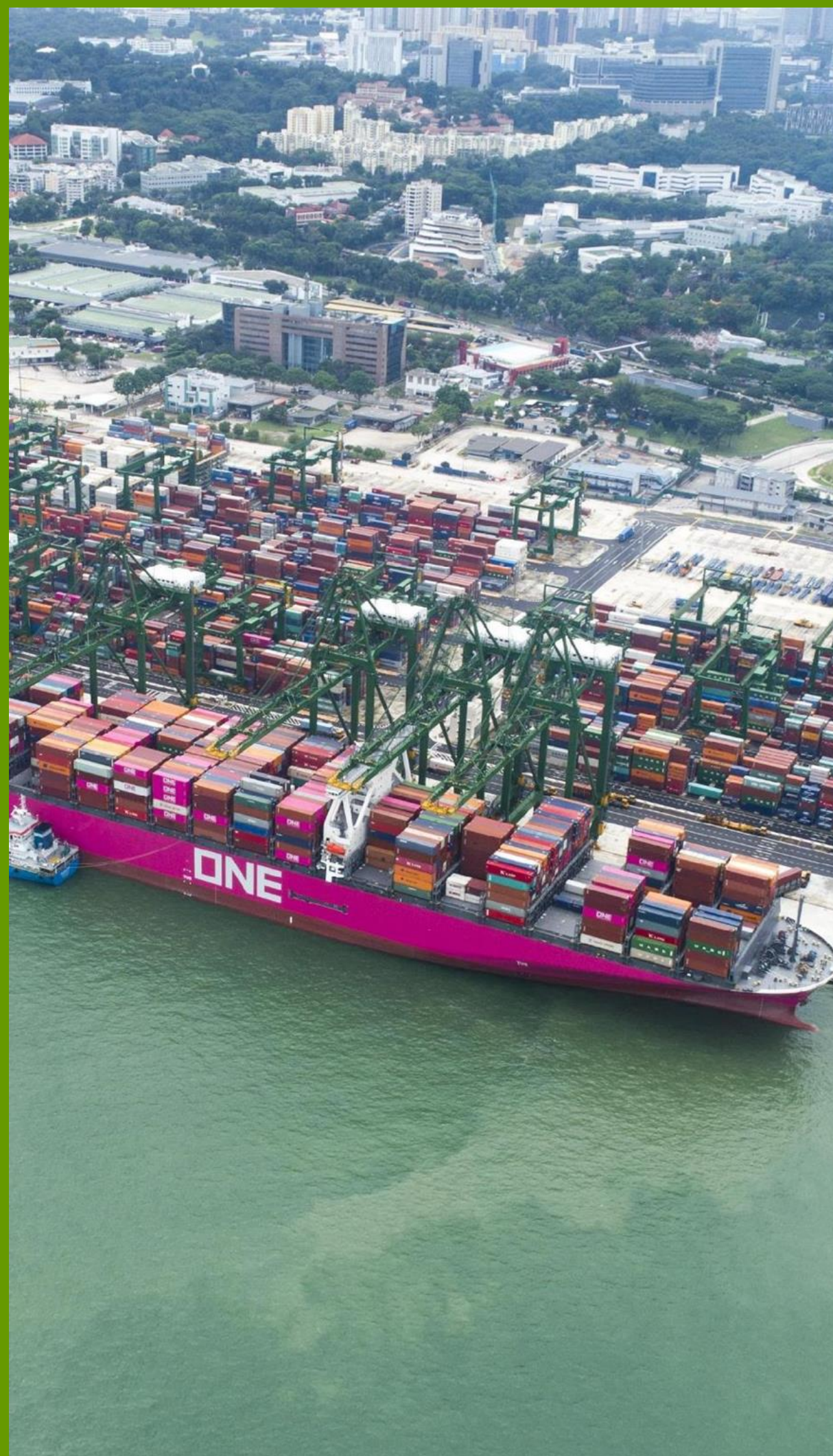
当社は、海上脱炭素グローバルセンター（GCMD）と共同で、ドロップインバイオ燃料の質的、量的及びGHG削減量保証の枠組みを確立するパイロットプロジェクトを立ち上げました。

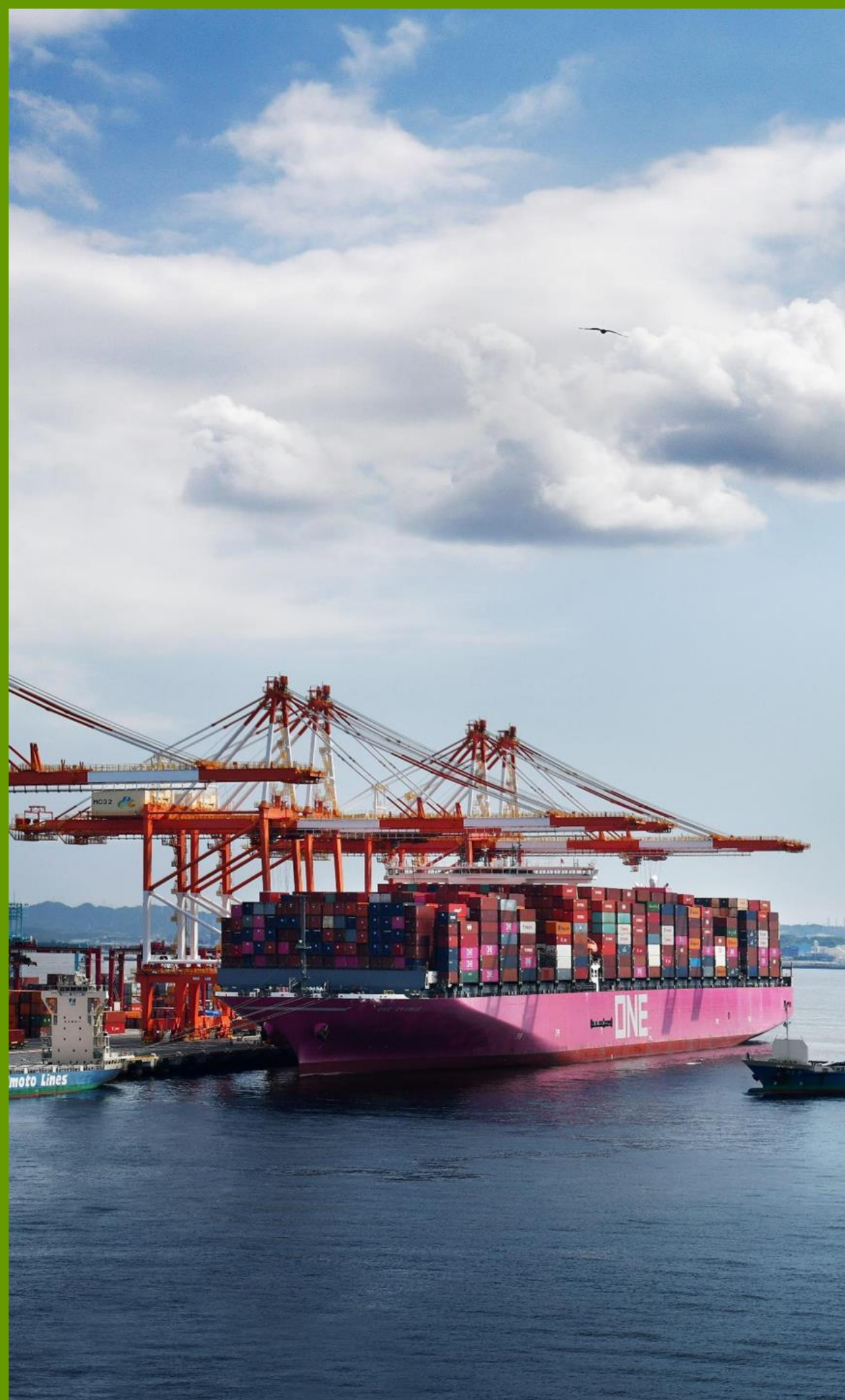
M/V MOL ENDOWMENT号は、シンガポール港で992トンの海洋バイオ燃料を給油し、2023年1月26日にそのすべてを消費しました。

このバイオ燃料を利用した4回目のトライアルは、2050年までにネットゼロを達成するという当社の目標へ一歩前進しました。

### バンカリング資料のデジタル化

また、今回のバイオ燃料の供給元であるシェブロン社と当社間との交信は、The Singapore Trade Data Exchange（SGTraDex）を通じて完全にデジタル化され、このトライアルにより、デジタル化へ一歩前進しました。





## ONE 英国初の代替燃料を用いた鉄道貨物輸送ソリューションを共同開発(GD+)

2023年1月17日、当社は英国最大の海上複合物流事業者である Freightliner社と、英国サウサンプトンからクルーへの新しい貨物サービスを共同で開始しました。Freightliner社が運行する行程において、当社は必要な燃料の100%をカバーするGD+燃料を購入します。

GD+は、ディーゼルに代わる水素化処理された植物油の一種です。このドロップイン燃料は、廃棄物や残油のみから作られ、再生可能で且つ持続可能であるとされています。これらは、トレースすることが可能で、独自に認証を受けています。

このサービスの開始は、志を同じくするサプライチェーン・パートナーとともに、より環境に優しい未来の実現を目指す当社のコミットメントを明確にするものです。GD+の使用は、ディーゼル燃料と比較して、CO2排出量を削減し、窒素酸化物やメタンも削減することができます。

当社は、今後も引き続きサプライチェーンの脱炭素化に全力で取り組んでまいります。





## グローバルな取り組み

当社の各オフィスでは、「世界水の日」に関連して、さまざまな活動や啓発キャンペーンを実施しました。

- ▶ アラブ首長国連邦ドバイ：新たな節水の誓いととも啓発活動を推進
- ▶ フランス："水を守ることは命を守ること"というメッセージを掲げた一連のYouTube動画を制作
- ▶ オランダ：社内SNS上で「世界水の日クイズ」を実施
- ▶ パキスタン：「世界水の日」のポスターを作成するとともに、節水のコツを紹介
- ▶ ポルトガル：「世界水の日」のポスターと啓発キャンペーンを実施
- ▶ GHQシンガポール：「世界水の日」イベントで、青をテーマにしたキャンディーバーやクイズ、シンガポール視覚障害者協会のマッサージ師によるマッサージを開催

当社はトルコ・シリア地震の被災者を支援しました。

- ▶ シンガポール赤十字社を通じて4万シンガポールドル、トルコ赤新月社を通じて6万米ドルをそれぞれ寄付
- ▶ トルコ災害・緊急事態管理局（AFAD）を通じて、支援物資の無償輸送やシェルター用50×40ftのドライコンテナユニットを寄贈

当社は、自然災害で被災された方々に深く哀悼の意を表するとともに、グローバルコミュニティとともに復興支援サービスを提供することを約束します。



POWER OF ONE MAKING A WEIR



## ONEのグローバルオフィスにおけるCSR活動

当社は、2018年の事業開始以来、世界中で多くのCSR活動に参加してきました。責任ある持続可能なグローバル企業として、いくつもの地域コミュニティに多大な貢献をしてきました。2023年1月から3月までの間に、1100人以上の社員がさまざまな価値ある活動に参加しました。

その一例をご紹介します：

- ▶ シンガポール本部：当社の奨学金を受給する学生に旧正月の贈り物と社員のサイン入りグリーティングカードを贈呈、国際女性デーと世界水の日の啓発イベントを実施
- ▶ ドバイ：クルド及びイラクの難民コミュニティの恵まれない子どもたちのために玩具を作成
- ▶ エクアドル：サマネス公園の清掃活動を実施
- ▶ 香港：香港海洋博物館と提携し、教育活動の一環である「ONE Family Fun Day 2023産業プログラム」を実施、アースアワーキャンペーンの「ライトオフ」活動に署名。
- ▶ 日本：地元の病院で子どもの患者に手術や治療の方法を教えるために用いられるクワニズドール作りに参加
- ▶ 韓国（OTS）：恵まれない人たちのために無料で食事を提供する施設「バブフォー食事センター」でのボランティア活動
- ▶ マレーシア：ペナン港（PPSB）におけるトルコ・シリア地震被災者への救援物資提供活動を支援
- ▶ 北米、リッチモンド：米国赤十字社と協同して献血活動を実施
- ▶ 台湾：台湾盲人基金会と協力し、視覚障害者に対する資金調達のため、頭部及び肩マッサージの出張イベントを実施
- ▶ タイ：ペッチャブリー県ケンクラチャン国立公園での堰の建設に資金を提供し、活動を開始



ありがとうございました

[www.one-line.com](http://www.one-line.com)